

2012年度地域研究コンソーシアム共同企画講義 「エスノグラフィを書く」

従来エスノグラフィは、地域研究者、人類学者、社会学者などがフィールドワークで得た知見を記述する手法でした。現在では質的な調査結果をまとめる方法として、様々な学術分野やビジネスの世界にも浸透しつつあります。これまで地域研究は、エスノグラフィを書くことをめぐって、人々の視点をいかに表象するかという自問を繰り返してきました。



対話のチャンネルをひらく



21世紀の人文科学

エスノグラフィを書く

対話のチャンネルをひらく・生き方にふれる・社会に何かをもたらす

2012年度地域研究コンソーシアム共同企画講義へのお誘い

主催

地域研究コンソーシアム (JCAS)

大阪大学グローバルコラボレーションセンター (GLOCOL)

皆さんは、**エスノグラフィ**というコトバを聞いたことがあるでしょうか。現時点では、まだ多くの人にとって耳慣れないこのコトバは、しかしながら、21世紀の人文科学を創造する手法として、大きな可能性を持つコトバになることでしょう。

大阪大学グローバルコラボレーションセンター (GLOCOL) では、地域研究コンソーシアム共同企画講義として、「**エスノグラフィを書く**」というセミナーをお届けします。このセミナーでは、今日を代表するエスノグラフィの書き手をお招きし、参加者との対話を通して**エスノグラフィの手法**と、それが実社会にもたらす可能性について考えます。また参加する皆さんが、書いた文章のよいところを発見する**ライティングアップ・セッション**も予定しています。

開講日時：2012年10月13日（土）、20日（土）、27日（土）、2013年1月12日（土）

開講場所：大阪大学豊中キャンパス本学教育総合棟11F (GLOCOL・STUDIO)

受講資格

エスノグラフィを書くことに関心をお持ちの大学
院生、学部学生、一般の方で講師を10月1日ま
でに申し込める方。(30名程度、先着順)ですので、
応募してから、報題の準備によりかかってくる
い。)。

応募の切り

2012年10月1日（日）

応募・問い合わせ先

大阪大学グローバルコラボレーションセンター
info@glocol.usaka-u.ac.jp

講義の予定

- 【導入】「エスノグラフィを書く」という問題
2012年10月13日（土）12:30～12:50
セミナーの進め方を説明
- 第1回「エスノグラフィを書く」という問題
2012年10月13日（土）13:00～19:00
講師：渡邊順雄氏（国学院大学文学部日本文学科日本文学専攻・教授）
- 第2回「エスノグラフィにどのような実証的な要素をもち得るのか」
2012年10月20日（土）13:00～19:00
講師：中川悠氏（大阪大学人間科学部・教授）
- 第3回「エスノグラフィに社会とどう向き合えるのか①」
2012年12月15日（土）13:00～19:00
講師：石井洋子氏（筑波大学文学部・専任講師）
- 第4回「エスノグラフィに社会とどう向き合えるのか②」
2013年1月12日（土）13:00～19:00
講師：伊藤恭三氏（北陸先端科学技術大学院大学知能統合研究科・准教授）
石野吉孝氏（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・准教授）

エスノグラフィは社会 に何をもたらし得る のか

本セミナーでは、そうした問題を、エスノグラフィが社会に何をもたらし得るのか、さらに書き手の自己変革を伴うエスノグラフィを書くことが、書き手と社会の間にどのようなつながりを生み出すのかについてともに考えてみたいと思います。



本セミナーは、大阪大学グローバルコラボレーションセンター (GLOCOL) グローバルコラボレーションセンターとして開催されることに、地域研究コンソーシアム (JCAS) の共同企画協賛プログラム、共同企画協賛、GLOCOL コミニティとして行われます。



詳細は web で検索 >>>